

2月のコミスクだより 2019

新年度に向けて！

大田小では、小・中学校、家庭、地域が協働して「ふるさと美東を愛し、地域の将来を担っていく子ども」の育成を目指し、ふるさとの人、もの、こと、ふれあいを学習を展開しているところです。早いもので今年度も残すところ1ヶ月となりました。今、大田小学校では、今年度の反省をもとに、新年度に向けての準備を進めています。

美東中との小中連携教育から小中一貫教育を目指して

次年度からは赤郷小学校と本校が統合し、再来年度からは全国のすべての小学校で新学習指導要領による教育が本格実施となるなど、学校が大きく変わろうとしています。

それに伴い、大田小学校と美東中学校は、小学校・中学校の9年間で育てたい子どもの姿やそのために育成したい資質・能力を設定して同一歩調で教育を展開する小中一貫教育を、美祢市のモデルとなって進めていく取組を開始しました。

2月20日(水)には、大田小学校と美東中学校の全教職員が一堂に会して、教職員が数名のグループでのワークショップをとおして、大田小・美東中の子ども達の良さや課題をもとに、今後子ども達に育成したい資質・能力は何かについて、具体的に協議しました。

今後は、このたびの協議をもとに各校において、保護者や地域の方々の思いや願い、今後の変化の激しい社会をよりよく生きるために求められる力なども考慮しながら、子ども達に育成したい資質・能力について、更に検討を重ね、具体化していきたいと考えています。

2/14 第4回みとうこぶっちゃんネットの報告

みとうこぶっちゃんネットでは、「ふるさと美東を愛し、地域を担っていく子ども」の育成を目指し、教職員、PTA会長、学校運営協議会委員が3つの「まなび」「こころ」「そだち」のプロジェクトチームに分かれながら取組を進めてきました。今年度最後の協議会が2/14に行われ、各校、各プロジェクトの進捗状況を確認するとともに、次年度の取組・方向性について協議しました。ここで次年度の取組について簡単に紹介します。

- ①まなび：地域学習の推進(地域連携カリキュラムの充実)
家庭学習習慣作り
 - ②こころ：みとうの日・あいさつ運動の一層の推進(地域、家庭への啓発)
 - ③からだ：「はしろうオリンピック」(1000m走)、生活習慣カードの活用(年3回実施)
- ※スマホ等のメディアを自らコントロールできる力の育成

これらについて、各学校でさらに検討し、互いの取組を共有しながら進めていきます。本校でも地域・家庭・学校が協力しながら進めていきたいと考えています。

赤郷小学校統合協議会

今年度4回にわたって本校と赤郷小との統合がスムーズに行われるように、市教委主催で統合協議会が開催され、通学、教育課程、PTA組織等について話し合われました。本校からは校長、PTA会長が参加しました。

